

「安心・信頼・尊敬」——

本校の教育方針の柱となる言葉です。

人から安心される

信頼される

尊敬される

本校ではそうした人物を育てることを目標としています。

「安心する」「信頼する」「尊敬する」ではありません。

あなたが、日本で、安心され、信頼され、尊敬されている時、
留学は成功だったと言えます。あなたには、日本人の友達が
たくさんおり、日本での生活に自信をもち、母国に明るい表
情で帰ることができます。

それには

まず、日本を好きになること

そして、日本の文化・習慣を守ること

さらに、そこから日本人の考え方・心を知ることが
必要です。

● 「2文化2常識」(bi-culture, bi-common sense)

日本語と外国語には似ている点もたくさんあります。

でも、別の言語です。

日本語を勉強しても、母国語を忘れることはありません。

日本語と母国語を混ぜて使うこともありません。

実は、文化・常識も同じです。

日本の文化・常識と母国の文化・常識は似ている点もたくさんあります。

でも、別のものです。

日本の文化・習慣（**日本式**）を勉強しても、母国の文化・慣習（**母国式**）を忘れることはありません。

本校では、この**文化・習慣の切り替え**のことを

「**二言語・二常識**」

「**二文化・二常識**」

と呼んでいます。

母国式と、日本式を「**混ぜない**」、相手によって「**切り替える**」こと、これが成功の秘訣。

日本では車は左側通行ですね？

もし、日本人があなたの母国でそのままいけば？

もちろん、大事故です！

この人は、日本では左側通行、あなたの国では右側通行。
みなさんは、母国では右側通行、ここでは左側通行。

仕事の仕方も、友達づくり方も、食事の仕方も、
実は違いますよ。

もし、日本で母国式に働けば・・・ やはり大事故

母国の人たちの中では母国式（母国の文化・常識）で、**相手
が日本人の時・公の場所では日本式**で。

もし、あなたが日本式だけになってしまったら・・・
母国に帰国した時に、 やはり大事故

母国に帰ったら母国式、日本では日本式
ことばと同じですね！

母国でも安心・信頼・尊敬、日本でも安心・信頼・尊敬。
その中身は、それぞれ違います。

●日本文化のキーワード

次の三つです。

まごころ
「真心」＝「相手を思いやる、相手の幸せを喜ぶ気持ち」

「正直」＝「事実に基づき、約束を守り、嘘をつかない」

「報告・連絡・相談」＝「ほうれんそう」

「真心」とは、みんなの両親が子供に思う気持ちのことです。お母さんは、みんなが小さかった時、みんなが何も出来なかった時、乳を飲ませ、服を着せ、みんなを守ってくれましたよね。

お母さんは、自分のことよりも子供のほうが大事です。食べ物が少なくて子供が泣いていたら、自分は食わずに子供に与えます。

お母さんは、自分の幸せも大切ですが、子供の幸せはもっと大切です。子供が幸せにしているのが、お母さんの幸せ。子供が苦しんでいたら、どうすればいいかいつも考えるのがご両親です。

●「ながさき」と「おもいやり」

このような気持ちのことを、日本の古い言葉では、

「ながさき」

と呼びます。

「あなたが、先」

「あなたの幸せが、先」

あなたの幸せのために、自分は何が出来るでしょうか、という心のことです。

今の日本語では、「おもいやり」と呼んでいます。

「ホスピタリティ (Hospitality)」という事もあります。

「自分は後」「エゴ (利己) は後」でもありますね。

私たち、教職員は、この「ながさき」で行動します。

学生のみんなも、もし、日本留学で成功したい人は、

安心・信頼・尊敬されて、笑顔で母国へ帰りたい人は、

「ながさき」

ができるように心がけて下さい。

ご両親の気持ちで、全ての人に接すること。

とても簡単ですね！

● 「正直」と「ほうれんそう」

「正直」は、安心・信頼の基礎です。約束を守らないと、うそ（虚）になり、安心・信頼・尊敬されません。出来ないことをできるといってもうそになります。するといったのにしないとうそになります。事実を無視して自分の都合のいいこ

とを言えば **うそ**になります。

悪意がなくても結果としてうそになれば、**うそ**と同じ。

「**報告・連絡・相談（ほうれんそう）**」は、日本人と一緒に仕事をしたり、遊んだり、生活するために必要なことです。何をどうするのか、学校の規則・ルールは、みんなが「**ほうれんそう**」出来るように組み立ててあります。

規則・ルールを守りましょう。これは**約束（engagement）**です。

このガイドブックは、留學生活・学校生活を安全に、安心して送り、みんなが成功するための「**正直**」の道、正しい「**人の道**」の手引きです。